

大学発スタートアップにおける経営人材確保支援（MPM）

2023年度採択事業者 成果報告書

2025年3月31日

東北大学ベンチャーパートナーズ株式会社

課題

- **東北圏域の大学発スタートアップにおける経営人材不足**
 - ・ 東北圏域には技術シーズが豊富に存在する一方、事業化の知見や運営能力を持つ経営人材が不足
 - ・ 首都圏と比較してCxOを担える人材が少なく、流動性が低いことが一因
 - ・ その結果、研究者だけでは適切な経営戦略が策定できず、市場参入の遅れや資金調達の失敗が発生
- **既存の人材確保手法では十分な候補者を確保できない**
 - ・ 大企業からの転職者をCxOとして直接採用する方式では、研究者との相性が合わず離脱するケースが発生
 - ・ 地方特有の課題として、スタートアップ自体の数が少ないため、適切な候補者の発掘スキームが確立していない
 - ・ 仮に経営人材を発掘できても、研究者との相性やビジョンの不一致が経営参画を阻害

MPM以前の取組

- **東北大学主導の経営人材育成プログラム**
 - ・ 大学の起業家教育プログラムによる経営者候補を育成
 - ・ しかし、そこからの経営人材マッチングや大きく事業スケールするようなSU設立には限定的な成果に留まる
- **大企業在籍者を対象とした人材確保の試行**
 - ・ 既存の採用手法として、大企業からの転職者のリクルーティングやリファラル採用
 - ・ しかし、転職リスクの高さや、研究者との相性の問題等により、経営参画は限定的
- **SU設立に向けた研究者支援**
 - ・ 研究者向けの事業計画策定支援をTHVPキャピタリストが実施
 - ・ しかし、経営人材不在のままではSU設立のハードルが高く、進捗が滞るケースが発生

MPMで目指す姿

- **副業人材の活用**
 - ・ フルコミット型の人材確保が困難な現状を踏まえ、副業形態での経営人材を確保
- **多様な人材プラットフォームの活用**
 - ・ 人材採用のベースとして活用されてきた一般紹介型以外にも、複数の人材プラットフォームを比較・検討
- **経営人材と研究者の関係構築支援**
 - ・ 研究者が経営人材、THVPキャピタリストと協力しながらSUを成長させる環境を整備
- **期待される成果**
 - ・ 地方発SUに適した経営人材の確保と、継続的な人材供給の仕組みを確立
 - ・ 研究シーズと経営人材の適切なマッチング手法の確立

(2) 事業概要

本事業は、東北圏域の大学発スタートアップ（SU）の創出と成長を支援するため、経営人材の発掘・マッチング、環境整備を含む事業化支援を通じて、持続可能なスタートアップエコシステムの構築を目指す。

実施項目	取組概要
①経営人材の発掘・育成	● 副業人材の活用：副業を中心とした柔軟な経営人材の参画モデルを推進。また、地方SUに適した経営人材を確保するため、I/Uターン人材の発掘を強化 ● 人材プラットフォームの比較、検討：各種プラットフォームを比較、検討したうえで、潜在的な候補者を幅広く探索。研究者との相性やスキルを適切に評価する採用面接プロセスを構築
②経営人材と大学等の技術シーズ・大学発スタートアップのマッチング機会創出	● 事業性検証を重視したマッチング：研究シーズと経営人材のマッチングにおいて、事業性検証タスクを重視。エキスパートインタビューや市場調査ツールを活用し、技術の市場適応性を検証 ● 多様なマッチング機会の提供：個別面談・座談会、その後の伴走を通じて、研究者と経営人材が互いのビジョンを共有できるマッチング環境（定期ミーティング等）を整備
③経営人材として経営参画するための環境整備	● 伴走支援：経営人材ごとにTHVPキャピタリストが担当制で伴走し、研究者との関係構築を支援。また、事業化フェーズごとに適切な支援を提供し、経営人材がSUの立ち上げを円滑に進められるよう支援 ● GAPファンド活用の促進：経営人材が研究者と協力し、GAPファンドの申請をサポート
④取組内容及び実施結果等についての自己分析及び報告会等への参加	● 成果の可視化とフィードバック：KPIを設定し、経営人材のマッチング成果、SUの成長状況を評価分析。 ● 成果の発信と普及活動：人材プラットフォームのオウンドメディア、東北大学関連セミナー、KPMGイベント等を活用し、事業成果を広く発信。

(2) 事業概要

本事業のマッチングスキーム

経営者を数回の面接で採用することは難しいチャレンジ。本事業では半年から一年程度の伴走期間を設け、納得感を高めた上でのSU参画を目指す。経営人材候補は副業×地方人材をキーワードに発掘するための適した人材プラットフォームの徹底比較したうえで活用。マッチングさせる研究シーズについてはTHVPアセット（東北圏域の大学、GAPファンド等）による良質なものをTHVPキャピタリストが選定

マッチングのイメージ



本事業で定めたKPI

本事業では、大学発SUの成長促進と経営人材の確保を目的として、NEDOと合意のもと、達成すべきKPIを設定した。これらのKPIは、経営人材の発掘・マッチングからSUの設立・成長支援に至る一連のプロセスを可視化し、事業の有効性を評価するための指標として機能するものであり、以下の考えに基づき設定した。

KPI	目標値 (人/件数)	実績値 (人/件数)	備考
マッチング創出数			
イベントや個別紹介等の「出会い」に参加した経営人材の数	208	256	・本事業では、19名の経営人材を採用することを目標とし、そのために複数の選考プロセスを設けた。 ・THVP支援例におけるリード獲得率のデータを参考に、書類選考を経た上で208名と出会う目標値を設定。
「出会い」を経て、具体的な伴走支援等の「関係構築」に進んだ経営人材の数	19	24	・7件の研究シーズに対し、それぞれ1～3名の経営人材が伴走。 ・また、設立済みの大学発SU4社に対しても、1～2名の経営人材を割り当てることを計画。 ・これらを合計し、19名の経営人材がスタートアップと関係を構築することを目標とした。
「関係構築」を経て、スタートアップの設立もしくは経営への参画等の「意思決定」に至った経営人材の数	6	5	・新規設立する大学発SU 2社には、各3名の経営人材を配置。 ・さらに、既に設立済みの大学発SU 3社に対しても、経営人材3名を参画させる。
大学等の技術シーズを起点に、設立に至った大学発スタートアップの数	2	1	・東北圏域では年間10～20社の大学発SUが設立されているが、そのうち1割に相当する2社の設立を本事業の目標と設定。
大学発スタートアップ支援数			
経営人材が関与することとなる大学発スタートアップの数	5	2	・本事業では、19名の経営人材がスタートアップと伴走し、2社の新規設立、さらに3社の設立済みSUへ経営人材を参画させることを計画。

①KPI_EIR及びCxOごとのマッチング状況

EIR及びCxOごとのマッチング状況

EIR人材4人（うち宮城在住3名）、CxO人材20人採用し、マッチングを行い伴走支援中。SU設立目途が2社、設立済みSUへの参画も2人と成果も見えつつある状況。一方で離脱者についても発生しており、今後マッチング確度を上げる取り組みも必要である。

マッチング状況

	発掘		出会い	関係構築	意思決定
経営人材		面接	採用（宮城）		
	EIR人材	75名	4名（3名）		
	CxO候補	181名	20名		
			▼		
研究シーズ		発掘件数	マッチング	補助金採択（申請中）	SU設立目途/ SU参画意思決定
	研究シーズ	8件	<u>17名</u>	2件	<u>2社</u>
	設立済みSU	4社	<u>7名</u>	2件	<u>2名</u>
			▼		
離脱者			離脱		
	EIR人材		1名		
	CxO候補		5名		